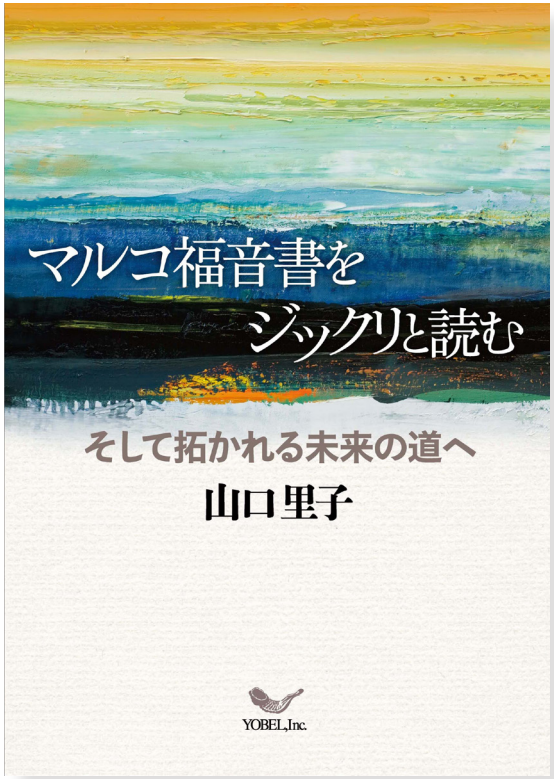
山口里子［著］

元日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター

マルコ福音書をジックリと読む

そして拓かれる未来の道へ

7月1日刊行予定



A5 判美装・328 頁・定価 2,750 円

本体 2500 円＋税　ISBN978-4-909871-83-1 C0016

福音書のマルコの思いと、その基にあるイエス自身の思い・行動を、学び考える。

聖書を原語で読み、時代背景を学ぶ。古代エリート男性の父権制的な価値観が、福音書著者たちも浸み込みつつ抵抗もして編集した。現代の私たちはそれをどう読むか——。この難問に、公開講座の仲間たちとともに学び、様々な人生経験と豊かな思いを分かち合う——。マルコ福音書読解の希有な情報共有！

主な目次

はじめに
＊私の留学体験
＊現代の聖書学的・倫理学的吟味
マルコ福音書
＊「歴史のイエス」研究・「社会科学的聖書注解」などについて

プロローグ（1:1-13）
マルコ福音書の始まりの言葉
「バプテスマのヨハネ」
イエスの受洗
荒野での誘惑、他

I.　ガリラヤ伝道（1:14-8:26）
ガリラヤ伝道の開始
漁師たちの招き
霊につかれた人の癒し
シモンの義母と、多くの人の癒し
伝道ツアー
「ライ病人」の清め
「体の麻痺した人」の癒し
徴税人たちとの共食
安息日の穂摘み
安息日に片手の萎えた人を癒す
「海辺」の群衆
「12 人」の選び
ベルゼブル論争
流血の女性と会堂長の娘①
流血の女性と会堂長の娘②
故郷での拒絶
「12 人」の派遣
バプテスマのヨハネの処刑死
ゲネサレトで多くの病人を癒す、他

II.　エルサレムへの道（8:27-10:52）
ペトロのキリスト告白
最初の受難予告と、再臨の暗示
イエスの変貌
霊につかれた子の癒し
最初の者・対立しない者・躓かせること
結婚と離婚
子どもの祝福
失うもの・与えられるもの
第３の受難予告
盲人バルティマイオスの癒し、他

III.　エルサレムで（11:1-13:37）
エルサレム入場
実の成らないイチジク
皇帝税と神殿税
復活問答
最も重要な戒め
ダビデの息子についての問答書記たちへの非難
寡婦の献金、他

IV.　受難物語（14:1-15:47）
イエスを殺す計画と、女性の香油注ぎ
「過越の食事」
ゲツセマネの祈りと逮捕
サンヘドリンの裁き・ペトロの否認・ピラトの裁き
イエスの処刑死
見つめていた女性たち、他

V.　復活（16:1-8）
イエスの復活

著者紹介　山口里子（やまぐち・さとこ）　1945 年生まれ。日本聖書神学校に学ぶ。1988 年よりハーバード大学神学部とエピスコパル神学校（EDS）で学び、1996 年に EDS より博士号取得。ストーニーポイント・センター常駐神学教師、ニューヨーク神学校・ニューアーク神学校講師を経て帰国。2000 年～ 2019 年、日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター。恵泉女学園大学、聖心女子大学、聖公会神学院、日本聖書神学校、農村伝道神学校などで講師を歴任。　**著書**『マルタとマリア　イエスの世界の女性たち』新教出版社、2004.『虹は私たちの間に　性と生の正義に向けて』新教出版社、2008.『新しい聖書の学び』新教出版社、2009.『いのちの糧の分かち合い　いま、教会の原点から学ぶ』新教出版社、2013.『イエスの譬え話 1　ガリラヤ民衆が聞いたメッセージを探る』新教出版社、2014.『イエスの譬え話 2　いのちをかけて語りかけたメッセージは？』新教出版社、2017.『食べて味わう聖書の話』オリエンス研究所、2018. **共著、訳書：**エリザベス・シュスラー・フィオレンツァ『彼女を記念して』日本基督教団出版局、1990. 多数

ヨベル　YOBEL Inc.　〒 113-0033　東京都文京区本郷４- １- １　T 03-3818-4851　F 03-3818-4858　http://www.yobel.co.jp